

乳腺外来について

当院では乳癌検診から手術、抗癌剤治療、緩和ケア医療まで広く行っており、女性医師、女性技師が対応させていただきます。

1) 乳癌検診を受けましょう！

2000年からマンモグラフィ検査を取り入れた乳癌検診となり、早期乳癌の発見が多くなりました。毎年乳癌検診を受けている方よりも、初めて乳癌検診を受けた方で乳癌が見つかる頻度が高くなっており、外来で乳癌と診断される方の多くは乳癌検診を受けていません。自分には関係ないと思っている方や検診を受けることが怖いと感じている方もこの機会に是非乳癌検診をお受けください。



2) 乳癌は早期発見、早期治療すれば天寿を全うする可能性が高い癌です！

乳癌にもなかには進行が速い性質を持つものもありますが、乳癌は比較的たちのいい癌です。その為早期発見、適切な早期治療を行い、再発なく過ごせる方もいますし、再発をしても、乳癌で命を落とすことなく、天寿を全うする方もいます。一番いけないことは、乳房のしこりに気付いているにもかかわらず、怖がって病院を受診しないことです。

3) ブレストアウェアネスって知ってますか？

1990年に英国で最初に普及した言葉ですが、ここ数年日本でもよく使われるようになってきました。ブレストアウェアネスとは「乳房を意識する生活習慣」のことで、**1. 乳房の状態をしる、2. 早く乳房の変化に気づく、3. 乳房の変化に気づいたらすぐ医師へ相談する、4. 40歳になったら乳癌検診を受ける**ということを提唱しています。あなたも今日からはじめてみませんか？

4) 遺伝性乳癌卵巣癌症候群って聞いたことがありますか？

BRCA1, BRCA2 遺伝子に異常を認め、名前のおとおり、遺伝する病気です。乳癌の方の7%前後に認められるといわれており、乳癌の方で、ある一定の基準を満たせば、保険適応で検査できるようになりました。当院でも遺伝子検査ができるよう準備中です。またお身内の方に乳癌や卵巣癌の方がおられる場合は、ぜひ検診やブレストアウェアネスをおすすめいたします。

5) 当院乳腺外来をお気軽に受診ください

マンモグラフィ検査、超音波検査は受診当日に行っております。検査の上で必要であれば細胞診（注射針を刺して細胞を見る検査）や針生検（少し太い針を刺して組織を採取し病理検査を行う検査）を施行、癌の診断になれば手術や抗癌剤治療、内分泌治療、分子標的薬による治療、免疫チェックポイント阻害薬による治療等、その患者様に応じた治療をご提案させていただいております。

何か気になることがありましたら、是非当院を受診ください。

医師、スタッフ一同お待ちしております。

（乳腺外科 医長 泉純子）



年に1回は婦人科検診を！

健康管理クリニックでは女性特有の子宮癌検診・乳癌検診に力を入れております。

子宮癌検診では、子宮の入り口の細胞を採取して癌細胞を検査します。20歳以上の方は年に1回定期的に受診することをお勧めします。月経時を避けてご予約下さい。

乳癌検診では、マンモグラフィ検査と乳腺超音波検査を行っています。マンモグラフィ検査は乳房をX線撮影する画像診断で、乳房を平たく圧迫するため撮影時に痛みを感じる場合があります。乳房が張って痛みに敏感になっている月経1週間前は避けた方が良いでしょう。乳腺超音波検査は乳房に超音波のセンサーを当ててモニターに乳房の断層面の画像を映し出します。マンモグラフィ検査と違い、X線の被爆もなく痛みもありません。乳腺が発達している若い世代の方、妊娠期や授乳期の方も検査が可能です。また、**今年からマンモグラフィ検査と乳腺超音波検査を一緒に受けていただくと、乳癌検診総合判定として、より精度の高い評価結果をお伝えすることができるようになりました。**



それぞれの検査の特徴を知り、ご自分にあった検査を定期的に受けていただくことをお勧めします。

健康管理クリニックでは、毎月第1、第3、第5木曜日は女性のみレディースデーとしております。安心してリラックスしてご受診いただけるようサポートいたします。

ご不明なことがありましたらお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】 TEL:03-3622-9190 賛育会病院健康管理クリニック



おめでとう! 赤ちゃん



お母さま
清水 さま

2021.4.2生まれ



お母さま
渡辺 さま

2021.5.2生まれ



お母さま
杉田 さま

2021.6.1生まれ